

問1 床の間や付け書院などの特徴を持つ、後の日本建築の基礎となった様式を何という？

1. 書院造 2. 数寄屋造 3. 寝殿造 4. 武家造

問2 室町時代、京都に慈照寺銀閣を建てて、簡素で気品ある文化の発展を支えた将軍は誰？

1. 足利尊氏 2. 足利義政 3. 足利義満 4. 足利義教

問3 世阿弥とともに能楽を大成させた人物であり、世阿弥の父でもあるのは誰？

1. 世阿弥 2. 雪舟 3. 一休宗純 4. 観阿弥

問4 室町時代、細川氏が実権を握り、明との間で行われた貿易を何という？

1. 朝貢貿易 2. 南蛮貿易 3. 勘合貿易 4. 中継貿易

問5 1467年、将軍の跡継ぎ問題と守護大名同士の対立がきっかけとなって起こった大きな戦乱を何という？

1. 明応の政変 2. 応仁の乱 3. 観応の擾乱 4. 元寇

問6 室町時代に惣村で村の運営のために行われた、住民による話し合いの集会を何という？

1. 寄り合い 2. 寄合衆 3. 座 4. 惣領

問7 吉野が南朝の拠点となった理由として、京都の勢力から身を守るためにどのような地形環境が重要であった？

1. 広大な盆地 2. 広大な平野 3. 緩やかな丘陵 4. 峻険な山々

問8 琉球王国が、貿易の拠点として整備した都は現在のどこにあたるか？

1. 佐敷 2. 那覇 3. 首里 4. 浦添

問9 15世紀に統一され、中継貿易で大きく繁栄した島はどこ？

1. 五島列島 2. 沖縄本島 3. 種子島 4. 佐渡島

問10 足利尊氏が京都に開き、武士による統治体制を確立した新しい政府を何という？

1. 室町幕府 2. 江戸幕府 3. 鎌倉幕府 4. 明治政府

問11 応仁の乱の後、実力のある者が上の立場の者を倒して勢力を広げた、戦国時代の風潮を何という？

1. 一揆 2. 落胤 3. 一門 4. 下剋上

問12 書院造などの様式を取り入れ、現在私たちが生活する住まいの呼び名となっている部屋の種類を何という？

1. 洋室 2. 座敷 3. 和室 4. 茶室

問13 堺の町で、有力な商人たちが組織した合議制の運営組織のことを何という？

1. 会合衆 2. 年寄衆 3. 評定衆 4. 引付衆

問14 室町時代中期、将軍の継承問題などをめぐって起こり、下剋上の風潮が広まるきっかけとなった出来事は？

1. 享徳の乱 2. 応仁の乱 3. 観応の擾乱 4. 文明の乱

問15 京都を中心として栄え、わび・さびを特徴とする室町時代の文化を何という？

1. 北山文化 2. 天平文化 3. 東山文化 4. 国風文化

問16 1428年に近江国で起こり、馬借らが蜂起した民衆とともに幕府へ徳政を求めた一揆を何という？

1. 山城国一揆 2. 加賀の一向一揆 3. 播磨の土一揆 4. 正長の土一揆

答え合わせ・解説

問1	答え 1 書院造	書院造は、床の間、違い棚、付け書院といった装飾的かつ機能的な要素が備わっているのが最大の特徴です。畳を部屋全体に敷き詰めることが一般的となり、武家だけでなく後に公家や寺院にも取り入れられました。これにより、現在私たちが生活する「和室」の空間デザインが完成しました。
問2	答え 2 足利義政	足利義政は京都の東山に山荘を構え、茶の湯や華道、連歌などの文化的な活動を奨励しました。義政自身が理想とした「わび・さび」という美的感覚が、その後の建築や庭園のデザインに反映されました。
問3	答え 4 観阿弥	観阿弥は、独自の工夫を加えて演劇性を高め、息子である世阿弥とともに「能楽」という日本の伝統芸能を大成させました。特に観阿弥の躍動感ある芸風は、義満の絶大な支持を受け、能が武家社会の教養として定着するきっかけとなりました。
問4	答え 3 勘合貿易	足利義満が開始した勘合貿易は、明の皇帝が発行した証明書である「勘合」を所持した船のみが貿易を許可される仕組みです。これにより倭寇と区別され、円滑で利益の大きい貿易が可能となりました。細川氏や大内氏といった有力な守護大名がこの貿易の実権を争い、大きな利益を得ました。
問5	答え 2 応仁の乱	この対立は1467年に武力衝突へと発展し、京都を主戦場として約11年間にわたって続きました。将軍の権威は失墜し、守護大名同士の勢力争いが全国へ拡大しました。
問6	答え 1 寄り合い	「寄り合い」は、村の運営に関わる重要な事項を決定するための集会です。ここで村独自のルールである「惣掟」を定めたり、年貢の配分や用水路の管理などについて話し合ったりしました。農民たちは対等に近い立場で議論に参加しました。
問7	答え 4 峻険な山々	吉野は奈良の奥地に位置し、非常に険しい山々に囲まれています。この地形は、大規模な軍勢による攻撃を困難にしました。そのため、南朝は少ない兵力でも長期的に拠点を維持することが可能となりました。
問8	答え 3 首里	首里は琉球王国の王都として整備され、首里城が置かれました。ここを拠点に琉球は明や東南アジア諸国との間で中継貿易を行い、各国の特産物を集めて再分配することで大きな利益を得ました。首里はまさに王国の政治・外交の中心地であり、交易により発展した高度な文化が根付く街でした。
問9	答え 2 沖縄本島	沖縄本島を中心とする琉球王国は、中国、日本、東南アジアの間に位置する地理的条件を活かしました。それぞれの国から仕入れた品物を他の国へ運ぶ「中継貿易」を行い、東アジアにおける物流のハブとして莫大な利益を上げました。この貿易を通じて、日本文化や中国文化も影響を受けました。
問10	答え 1 室町幕府	尊氏は京都に拠点を置き、自らを征夷大將軍として「室町幕府」を開きました。幕府は將軍の補佐役である管領や、地方を統治するための鎌倉府などの組織を整え、武士による新たな支配体制を築き上げました。
問11	答え 4 下剋上	「下剋上」とは、下位の者が上位の者を実力で倒して支配権を奪う、戦国時代特有の世の中の秩序を指します。守護大名が家臣や国人に実権を奪われる事態が各地で相次ぎました。
問12	答え 3 和室	和室は、床の間という芸術品を飾る空間や、畳という天然素材の床材を備えた部屋です。室町時代に成立した様式がベースとなっており、その後、江戸時代などを通じて人々の生活様式に適したものと変化してきました。現在においても、伝統的な生活空間として多くの家に親しまれています。
問13	答え 1 会合衆	会合衆は、堺の有力者による合議組織です。彼らは町を運営するための相談役や意思決定者として活動し、堀をめぐらせるなどの防衛策を講じたり、町独自の法を運用したりしました。この組織により、堺は「日本で最も自由な都市」としての地位を確立しました。
問14	答え 2 応仁の乱	8代將軍足利義政の後継者争いに、有力な大名家である細川氏と山名氏の対立が絡み、京都を中心に約11年間も続いた大乱です。京都は灰燼に帰し、幕府の権威は地に落ちました。
問15	答え 3 東山文化	東山文化は、禅宗の影響を強く受けているのが特徴です。簡素で落ち着いた「わび・さび」の精神が重視され、書院造の原型や水墨画、能楽などが大きく発展しました。これまでの武家文化と公家文化が融合し、現代の日本文化にもつながる大きな影響を与えました。
問16	答え 4 正長の土一揆	この一揆は、近江国の馬借が先導したとされ、土倉や酒屋を襲って借金の証文を破り捨てました。彼らは「徳政」を要求し、それまでの借金を帳消しにすることを幕府や領主に認めさせようとした。